



大阪府立長尾高等学校 理科研究部 河川水質チーム

大阪府枚方市長尾家具町5-1-1

なぜ、川の水が塩基性になるのか？



枚方市とコラボして船橋川の水質調査実施中

本校では0時間目にSDGsを中心に学び、理科研究部は学校のそばの船橋川の水質を10年にわたり調査してきた。長期データから河川水のpHが夏場に弱塩基性の9近くなることがわかった。河川水が極端に酸性や塩基性になれば、環境リスクが高まり生態系が維持できない。

ここ3年間、淀川水系の5つの河川のpHと採水を曝気した状態でのpH:RpH (Reserved pH)を測り、両者が2近く異なる事例に気づいた。その原因を探るために、流域の実地踏査、行政からの聴き取りと学術文献を含む調査を追加で実施している。今後も枚方市環境部環境指導課と協働して船橋川の河川環境を守っていききたい。本研究の一部はREHSEによる高校生の自主研究活動支援事業(<https://rehse2007.com/index.html>)の助成を受けた。